



# EMINENT αIV

RO-20X

門型洗車機 エミネントαIV



洗浄力とスピードで  
洗車の新たな  
トレンドを創る!



エミネントαIV  
商品紹介動画



# BANZAI NEWS

2021  
Winter  
317

## 特集

BANZAI NEWS

### 既存技術の変化への対応

静かに変化した消耗品交換作業の数々。油断は大トラブルの元!

**BANZAI** 株式会社 バンザイ

<https://www.banzai.co.jp>

本社  
東京都港区芝2-31-19  
TEL 03-3769-6880  
E-mail: eigyo@banzai.co.jp

札幌支店  
札幌市西区24軒1条7-3-10  
TEL 011-621-4171  
E-mail: sapporo\_br@banzai.co.jp

東京支店  
東京都港区芝浦4-16-23 AQUACITY芝浦8F  
TEL 03-3769-6840  
E-mail: tokyo\_br@banzai.co.jp

広島支店  
広島市西区南観音2-7-10  
TEL 082-233-3201  
E-mail: hirosima\_br@banzai.co.jp

●営業所 旭川・青森・秋田・盛岡  
郡山・山形・新潟・長野  
前橋・宇都宮・水戸・埼玉  
千葉・横浜・静岡・多摩  
北陸・三重・京都・神戸  
高松

営業部  
東京都港区芝2-31-19  
TEL 03-3769-6881

仙台支店  
仙台市宮城野区福室2-8-21  
TEL 022-258-0221  
E-mail: sendai\_br@banzai.co.jp

名古屋支店  
名古屋市中区千種区青柳町6-26  
TEL 052-732-2600  
E-mail: nagoya\_br@banzai.co.jp

福岡支店  
福岡市博多区那珂5-3-15  
TEL 092-411-1261  
E-mail: fukuoka\_br@banzai.co.jp

●出張所 帯広・函館・富山・松山  
岡山・山口・山陰・長崎  
大分・熊本

海外販売部  
東京都港区芝浦4-16-23 AQUACITY芝浦8F  
TEL 03-3769-6894

関東支店  
埼玉県北本市朝日4-553  
TEL 048-590-3700  
E-mail: kanto\_br@banzai.co.jp

大阪支店  
大阪府市長田東3-3-11  
TEL 06-6744-1041  
E-mail: osaka\_br@banzai.co.jp

●販売会社 バンザイ南九州販売(株)  
バンザイ沖縄販売(株)



ISO9001-ISO14001  
自動車整備用部品検査用機器の設計開発販売及びサービス  
バンザイでは「顧客第一主義」を信条に  
お客様とのきずなを大切に、  
お客様満足度の向上を図っております。





朝焼けの洞爺湖 北海道

洞爺湖は日本で9番目に大きい湖で、日本百景のひとつです。雄大な景色の中、花火大会や遊覧船などが楽しめます。2009年には、有珠山と合わせて「洞爺湖有珠山ジオパーク」として、日本初の世界ジオパークに認定されました。縄文時代の暮らしやアイヌの人々の史跡といった貴重な歴史を学ぶこともできます。

## ★歳時記

- 1月 1日 元日
- 7日 七草
- 11日 成人の日
- 2月 2日 節分
- 3日 立春
- 11日 建国記念の日
- 23日 天皇誕生日
- 3月 3日 ひな祭り
- 17日 彼岸入り
- 20日 春分の日



## ●目次

- ★新年のごあいさつ..... ①
- ★特集 大変革時代への備え  
～ピンチをチャンスに変えて勝ち残るために～..... ②  
【第4回】既存技術の変化への対応  
静かに変化した消耗品交換作業の数々。  
油断は大トラブルの元!
- ★モデルショップ訪問【株式会社双葉自動車】..... ⑥  
作業効率と環境の両面で、最新の設備を導入  
新時代の大型車サービスに万全の対応
- ★モデルショップ訪問【ネットヨタ群馬株式会社 前橋こじまた店】..... ⑧  
好適な立地と最新のサービス体制で  
来店型・地域密着のコンセプトを実現
- ★モデルショップ訪問【大阪スバル株式会社 守口店】..... ⑩  
最新機器と快適なサービス環境により  
安心ドライブのサポート体制を実現
- ★ショールーム..... ⑫
- ★ロータリー..... ⑬
- ★BANZAIガイド..... ⑭

## あけましておめでとうございます

2021年の新春をお健やかに迎えのことに、心よりお慶び申し上げます。また平素より格別のお引き立てを賜り、誠に有難うございます。

弊社は昨年、おかげをもちまして創業100周年を迎えました。ここに重ねて日頃の皆様のご愛顧に感謝申し上げます。

昨年は新型コロナ禍が世界を覆い尽くし、経済、社会に大きな不安をひき起こしました。

ウイルスの収束は未だ見通すことが出来ない状況ですが、こうした脅威を過去幾度も克服してきた人類の知恵により、安心な生活を早期に取り戻すことができることを願っております。一方、このコロナ禍は、いかに多くの人々により社会の安心、安全が支えられているのかを、改めて考えさせられる契機ともなりました。私ども自動車サービスに携わる者にとっても、クルマ社会の安心、安全を守る使命の重大さも再認識し、皆様に対する確で時宜をとらえたサポートの提供に努めるよう、一層真摯な取り組みを続けてまいります。さて、時代の流れは環境問題への対応、デジタルシフトなど引き続き大きな変化の中にあります。自動車においても電動化、自動運転化の改革は一段上のステップに上がり、「CASE」や「MaaS」といった新たな潮流はさらに加速していくと思われまます。そしてサービスにおいても特定整備、OBD検査への対応など、幾つものハードルをクリアしていくことが求められております。

バンザイではこのような自動車の進化、社会環境の変化に対応したサービス機器のご提供、サービスビジネスのご提案など、これからも皆様へのご支援、サポートを提供してまいります。コロナ禍によってイベントやリアルな集客ができない今、新たな取り組みの一つとしてWebセミナーを実施するなどリアル・バーチャル両面での新たな試みを模索しており、サポート体制の持続可能性を推進いたします。

バンザイは101年目を迎え、新たな1世紀へと踏み出してまいります。皆様から賜りました信頼を大きな糧として、さらに皆様のご繁栄をお手伝いできるように、社員一丸となって日々精進して参る所存です。

本年も倍旧のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。



株式会社 バンザイ  
柳田 昌宏

# 特集

BANZAI NEWS

## 大変革時代への備え ～ピンチをチャンスに変えて勝ち残るために～

### 第4回 既存技術の変化への対応 静かに変化した消耗品交換作業の数々。油断は大トラブルの元!

当連載「大変革時代への備え～ピンチをチャンスに変えて勝ち残るために～」では、今まさに起こっている百年に一度と言われる自動車業界の大変革へ、どのように対応しつつ活用すべきかを考察しています。最終回となる今回は、エンジン、トランスミッション、バッテリー、エアコンなど、既存の基本的な技術がどのように変化しており、それらにどう対応すべきかについて、考えてみたいと思います。

#### 【1.エンジンオイルの低粘度化と規格改定】 「5W-30だけあれば大丈夫」 はもう通用しない!?

CO<sub>2</sub>など地球温暖化物質排出量削減による環境問題改善を狙いとするCAFE(企業別平均燃費基準)の強化に伴い、あらゆる方面から燃費低減のための技術革新が続けられています。エンジンオイルもその一つです。

エンジンオイルには主に「潤滑」「密封」「冷却」「清浄分散」「防錆」「応力分散」の6つの作用がありますが、これらは金属同士が触れ合う隙間にエンジンオイルが入り込み、油膜を作ることで生まれます。

しかしながらこの油膜の粘度が高すぎれば、各作用は高まる一方で動弁系が動く際の抵抗も増加します。そのため、エンジンオイルの粘度を下げるとともに、そうした低粘度オイルの使用を前提としたエンジンが開発され、順次市販車に採用されてきました。

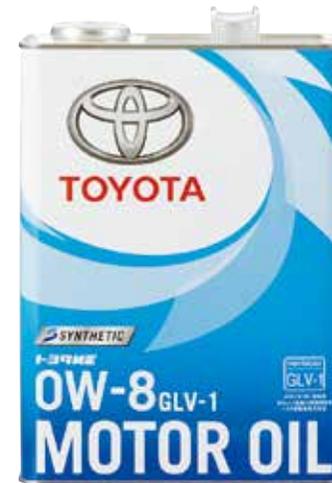
この傾向は、絶対的な動力性能よりも燃費が重要視される軽自動車やコンパクトカー、ハイブリッドカーで強く、かつて低粘度ガソリンエンジンオイルと言えば0W-20だったものが近年は0W-16、そして直近では0W-8を推奨する車種も出ています。

一方、欧州から北米へと広まっていったダウンサイジング

直噴ガソリンターボエンジンでは、LSPI(Low Speed Pre-Ignition。低回転領域から高負荷運転をするエンジンで、プラグによる点火の前に燃料が発火してしまう異常燃焼)や、ススの付着によるタイミングチェーン摩耗といったトラブルが発生しやすい傾向にあります。

こうした動向に前後して、ガソリンエンジンオイルの品質規格も変わっています。2019年には、0W-8および0W-12の要求性能と合格基準を規定する「JASO(日本自動車技術会規格)GLV-1」が規定されました。また2020年には、API(アメリカ石油協会)とILSAC(国際潤滑油標準化承認委員会)の規格が10年ぶりに改定され、APIは「SP」、ILSACは「GF-6」が最新のものとなりました。具体的には、前述のLSPIやタイミングチェーン摩耗の防止性能が新たな評価項目として加えられ、かつ省燃費性能や清浄性、酸化安定性に関する要求レベルが高められています。

ですから、これらの低粘度や最新規格のオイルを推奨する車種がエンジンオイル交換で入庫した場合、「このクルマの推奨オイル、ウチにはありません。(汎用性の高い)5W-30ならありますが…」では通用しなくなったと言っても、もはや過言ではないでしょう。低粘度オイルを前提としたエンジンに高粘度のオイルを入れれば燃費が悪化し、最新規格のオイルを前提としたエンジンに異なる規格のオイルを入れれば故障のリスクが高まります。とはいえ、そのエンジンが推奨す



推奨エンジンオイル粘度を0W-8とする新型トヨタ・ヤリスハイブリッドのコーションラベル。「トヨタ純正モーターオイル GLV-1 0W-8」もヤリスハイブリッドと同時に発売された



エンジンオイルの上抜きと下抜きの双方に対応するオイルチェンジャー「OC-40」フルセット(オイルバケツ付)

るものよりも低い粘度のオイルを入れれば、必要な油膜が得られず重大なトラブルに直結しますので、推奨オイルと同じ粘度のものがない場合は必ず粘度が高い方のオイルの使用をお勧めします。

さて、エンジンオイルの交換に関しては、空気抵抗低減や操縦安定性向上を目的として、エンジンルームの下側にアンダーカバーを装着するモデルが増えています。これらのカバーはドレンボルトの下だけ容易に開閉できる構造になっているとは限らず、最悪の場合はエンジンオイル交換のためアンダーカバーを丸ごと脱着しなければなりません。また、エンジンオイルを下抜きするため車両をジャッキアップすること自体、工数と事故リスクの増加を招きますので、エンジンオイルの上抜きに対応するオイルチェンジャーの導入も必要です。

#### 【2.トランスミッションの 多様化とレベルゲージレス化】 全自動式ATF&CVTFチェンジャー の活用が最も安全かつ効率的

かつては3ペダルMTとトルクコンバーター付き有段ATに大別されていたトランスミッションですが、1980年代よりCVTが徐々に普及し始め、1990年代後半にはハイブリッドカーとともにハイブリッドトランスアクスルが誕生、2000年代には

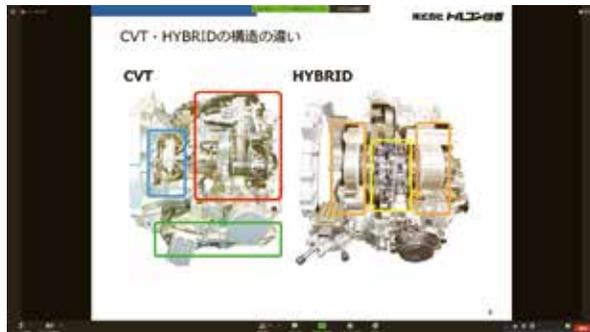
デュアルクラッチトランスミッションも市販化されるなど、多様化が進んでいます。また既存のMTやATも多段化が進み、MTは7速、ATは10速のものも見られるようになりました。

しかし、サービスショップの皆様により大きな影響を及ぼしているのは、ATやCVTのレベルゲージレス化でしょう。これは、特別保証が適用される5年もしくは10万kmの間にATFやCVTFの交換時期を設定せずに済むほどメンテナンスフリー化が進んだことによるもので、主にトヨタ・日産・ホンダ・マツダ車を中心として、レベルゲージが省略されるようになりました。またトヨタ車のハイブリッドトランスアクスルにも、ATFのレベルゲージは備わっていません。

ですが実際には、5年または10万kmよりも以前からATFやCVTFの劣化は進み、変速ショックの増大や加速の鈍化、燃費の悪化といった症状が徐々に現れます。そして、長期間交換せずに放置すると、蓄積されたスラッジがオイル流路やストレーナーを詰まらせ、重大なトラ



レベルゲージレス/付きATおよびCVT、ハイブリッドトランスアクスルのいずれにも対応するATF&CVTFフルードチェンジャー「AMC-1000P」



CVT(左)とハイブリッドトランスアクスル(右)の内部構造



レベルゲージレスCVTのフルード交換時は温度センサーをオイルパンに装着し、フルードが低温または高温になっているのを確認、オーバーフロープラグを外してチェンジャーの給排ホースを接続したうえで古いCVTフルードを抜き(左)、リフィルプラグの穴から新しいCVTフルードを注入する(右)。車両はトヨタ・ヴェルファイア(AGH30W)

ブルに発展する危険性が高まります。ですから2年または2万kmを目安として定期的に交換の方が予防整備の観点からも望ましいのは、以前と同じと考えるべきでしょう。

ところがこれらのトランスミッションでは、レベルゲージから新油を注入する従来の方法では交換できません。交換方法はそれぞれにより異なりますが、各トランスミッションに適したノズルアダプターを持つ、全自動式のATF&CVTFチェンジャーを使用するのが、最も作業効率が良く安全です。



EN規格バッテリーは端子の位置が蓋より低く、バッテリー全体の高さも低め



レベルゲージ付きAT-CVTはレベルゲージ用の配管がケースから伸びているが、レベルゲージレスのAT-CVTでは配管が省略されている



ハイブリッドトランスアクスルのフルードはドレンプラグを外して古いATFを抜き(左)、フィルプラグの穴から新しいATFを注入する(右)。車両はトヨタ・プリウス(ZVW50)

### 【3.バッテリーの多様化とEN規格の普及】 燃費低減の代償に負荷が増大。 定期的な点検で突然死の未然防止を

燃費低減のための技術革新があらゆる方面から行われていることは冒頭で述べた通りですが、12Vの鉛バッテリーもその一つです。

オルタネーター充電制御車やアイドリングストップ車、走行中にもエンジンを適宜停止するハイブリッド車は、エンジンの負荷を低減し、さらには使用する時間そのものを減らすことで燃料の消費量を減らしていますが、その分だけ発電時間



状況に応じてオルタネーターやエンジンを停止する車両はバッテリーテスター(左は「HCK-602」)での定期点検、バッテリー交換時はバックアップ電源(右は「MXS7.0」)によるデータの保護が不可欠

は短く放電時間は長いので、バッテリーに大きな負荷がかかっています。

一方で、これらの車両に対応するバッテリーは、寿命末期まで電圧が下がりにくいよう設計されているため、ヘッドライトが暗くなるなどといった劣化の兆候を直感的に察知しにくくなっています。

ですから、これらのバッテリーに対応したテスターで定期的に点検するのが、不意のバッテリー上がりを防ぐためにも欠かせません。またバッテリー交換の際は、ムダな初期設定作業を省くのはもちろん、大切なデータとともにカーオーナーからの信頼も失わないよう、ポータブル電源を併用することが強く望まれます。

その一方、2015年12月に発売された現行W50系トヨタ・プリウス以降、端子の位置が蓋より低く全体のサイズも低いEN規格バッテリーの採用車種が、トヨタ車を中心として急激に増え始めています。

これは、ボンネットの低い車種でもエンジンルーム内に搭載しやすく、空気抵抗の低減や前方視界の拡大、居住・荷室空間の減少防止、整備性・安全性の向上など、様々なメリットが考えられます。また、EN規格バッテリーは下部で固定するのが一般的で、従来のJIS規格バッテリーとはこの点でも異なります。

従って、EN規格バッテリーを装着する車種が入庫した際、JIS規格のバッテリーしか在庫していなければ、単価が高いバッテリー交換作業のビジネスチャンスを逃してしまう可能性が、今後ますます高まっていくでしょう。

### 【4.新エアコン冷媒R-1234yfの普及】 R-134a専用機での整備はNG。 当面は兼用機の導入が堅実

さて、地球温暖化の原因とされる温室効果ガスは、CO<sub>2</sub>だけではありません。むしろCO<sub>2</sub>はGWP(地球温暖化係数)の基準となっている物質で、その係数は1です。しかしカー



エアコンに新冷媒R-1234yfを用いるトヨタ・ヤリスハイブリッドのコーションラベル。指定コンプレッサーオイルはPOE

エアコンの冷媒として広く使われている「R(HFC)-134a」はGWPが1430と、極めて高くなっています。そのため日本でも改正オゾン層保護法やフロン排出抑制法が施行され、GWPが1と極めて低い新冷媒「R(HFO)



-1234yf」を採用する車種が新冷媒R-1234yfと旧冷媒R-134aの双方に対応する全自動フロンガス回収着実に広がり始めています。再生機「OKクリマユニカ」

このR-1234yfはわずかに可燃性を有しているうえ、一部の樹脂と相性が悪いため、従来のR-134aにのみ対応する装置では冷媒の回収・再生・充填を行うことはできません。また、フロン排出抑制法の対象にはならないものの、高圧ガス保安法が規定する特定不活性ガスには該当し、かつR-1234yf自体が現時点では高額なため、R-1234yfに対応した装置での回収・再生・充填作業は必須です。とはいえ当面はR-134a採用車種が混在するため、R-1234yfとR-134aの双方に対応する回収再生充填装置を導入するのが賢い選択と言えます。

バンザイではこうした既存技術の変化にもいち早く対応し、サービスショップの皆様をサポートする整備機器を多数取り揃えるとともに、各種セミナーを通じて積極的に情報を提供しております。そして今後も、皆様と一緒にこの大変革時代を乗り越え、勝ち残っていきたく思います。どうぞよろしくお願いたします。

# 作業効率と環境の両面で、最新の設備を導入 新時代の大型車サービスに万全の対応

徳島市の株式会社双葉自動車ではこのたび最新の設備機器を全面的に導入した大型車整備工場を新たに建設し、整備作業の省力化、効率化とともに、明るく快適な作業環境の新工場として完成しました。また併せて大型車の電子制御システムの整備を対象とした特定整備にも対応、新時代の大型車サービスに万全の体制を実現しました。



新工場の外観。  
右端から検査ライン、大型ストール3、中型ストール1のレイアウト。



すべてのリフトにLED照明を内蔵。



4ストール間を移動できる天井クレーンを設備。  
ストール間の架台に各種リールを設備。

## 一般・車検整備から架装まで、技術力が強み

同社は小型車から大型車までの一般整備、車検整備はもとより、板金塗装、各種トラックボディの架装作業まで、高度な技術力を強みとする指定整備工場です。新工場は従来の工場に隣接する敷地に建設されたもので、大・中型車整備の4ストールに検査ラインを併設しています。

新工場については3年ほど前から計画されていたとことで、従来、大型車、小型車の2工場で実施されていた幅広い整備作業のうち、大・中型車の一般・車検整備を新工場に分離し、専門に行うことが目的です。高度化する大型車のサービスに最新設備を完備し、今後予定されている大型車の特定整備にも対応できる体制を整えました。

将来的な人材確保に対しても「現場のメカニックが快適に、健康に作業できる工場に、また人を育成できる環境づくりを、と考えました」と代表取締役社長の梶ヶ谷和夫氏。同社では社員の平均年齢も若く、これからの期待される若手スタッフも充実しているとのこと。



代表取締役社長  
梶ヶ谷 和夫氏



専務取締役 工場長  
大浦 護氏

キャタピラツインIIで大型トラック、バス整備の効率化を実現。



ストールの前後にバキューム吸塵装置のリールを配置。



バキューム吸塵装置は工場の2か所に設置。

## 「環境と健康」に配慮した最新設備を導入

新工場は4ストールにキャタピラツインIIを3基とキャタピラツインIIミニを1基、さらに検査ラインにはフロアリフトを設備しています。「すべてのリフトに照明を設備し、作業性も大幅に向上しました」と専務取締役工場長の大浦護氏。ストールごとにLED照明を設備しているほか、キャタピラツインIIにも車両の下回り作業を容易に行えるよう、すべてLED照明を内蔵しています。

また周辺設備として各ストールの架台にエア、オイルリールなどのほか、バキューム吸塵装置を配置してブレーキ粉塵の飛散を防止し、清潔で安全な作業環境への改善を図っています。

さらに検査ラインには「ネットワークPro」を導入、各テスターと連動して検査業務の効率化、迅速化を実現しています。



検査ラインにはフロアリフトを設備。



ネットワークProの導入で検査業務を効率アップ。



フロアリフトには照明、ビットリフトを内蔵。

## 創業70周年へ向けて全社一丸の取り組み

新たな設備環境によって「タイヤの脱着ひとつをとっても以前よりはるかに楽になりました」と大浦専務。「まず新設備に慣れることが先決で、安全、確実に、そして効率アップにつながらばと思っています」とのこと。どのように新工場を活かして使うか、メカニック全員で改善のための提案を持ち寄り、これからの作業改善につなげようと計画されています。

同社は来年、創業70周年を迎えられるため、新工場はその記念プロジェクトでもあるとのこと。一般・車検整備を分離できることで、従来工場での板金塗装、架装部門の効率化、作業性向上にもつながることから、全社をあげてこれからの作業改善、品質向上に取り組んでいきたいとのこと。



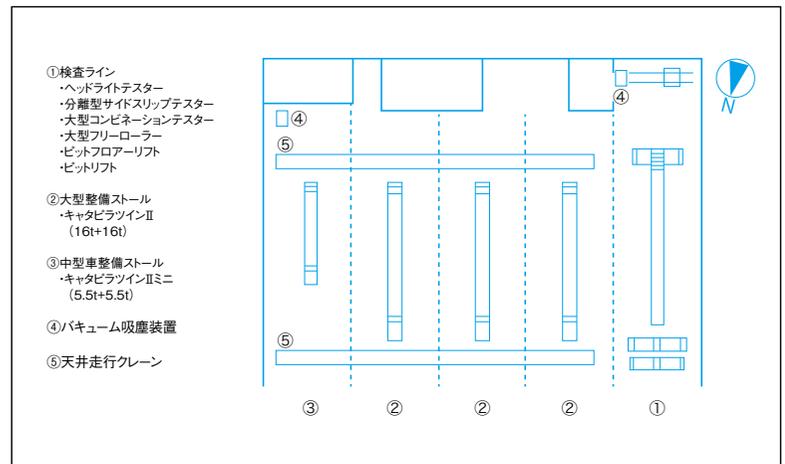
梶ヶ谷社長は長年の貢献により、国交省大臣表彰を受賞。



各種のトラックボディ架装作業にも高い定評。近畿、九州、中国地方からの入庫も（従来の大型車工場）。



標識車、高速道路作業車の架装も同社の技術力が強み。



# 好適な立地と最新のサービス体制で 来店型・地域密着のコンセプトを実現

ネットヨタ群馬株式会社ではこのたび前橋市内に21番目の拠点として「前橋こじまた店」をオープンしました。スーパーセンター、ホームセンターが並ぶショッピングモールに隣接し、お客様により来店しやすい販売・サービスの拠点として、さまざまな機能を集約した新たな店舗の形態が目まぐるしく注目を集めています。



国道50号線に面した外観。小島田町西交差点に面し、来店も容易



店舗左側のイベントスペース。多目的な活用に対応



商談コーナー、待合コーナーも  
広々としたレイアウト



お客様をお迎えるフロント



オリジナルキャラクター「パオタ」のいるキッズコーナー

## 国道50号のランドマークに

前橋市内を東西に走る国道50号線に面した新店舗はガラス張りの店舗前面に大きくアーチ状のデザインを施した斬新な外観、木目調の色彩が従来のネット店と大きくイメージを変え、ひととき目を引くランドマークとなっています。

今回の店舗計画は従来の本社うづぼい店を移転して新設されたもの、「従来の店舗は国道からやや入った工業団地にあったので、今回の新店舗の完成でお客様には来店いただきやすくなりました」と店長の白石太郎氏。ショッピングモールへの入り口にあたる好適な立地です。

店舗の正面左側にはショールームを兼ねたイベントスペースが設けられており、こちらも新店舗における新たな企画です。「ショッピングモール店とコラボしたイベント企画のほか、地域顧客にも利用していただけるスペースにしたいと考えています」と、地域密着のコンセプトを具現化する新店舗となっています。



店長  
白石 太郎 氏



副店長  
坂田 博行 氏

## 完全空調と最新設備で快適環境を実現

新工場にはサービスストール7ストールに検査ライン、および屋内洗車場を併設。サービスストール、通路とも空間を広くとり作業性に配慮されているほか、冷暖房を完備し、工場入口にはスピードシャッターを設備し、年間を通じて快適な空調が保たれています。

主な設備は7ストールにイーグルFXリフトが5基、フラットワークステージX 5tおよびタンデムリフト各1基を導入。また検査ラインにはトリプルテスター、固定式フリーローラー、フラットワークステージX 5tが導入されています。そのほか敷地内に会員向けのセルフ洗車場も設けられるなど顧客への利便性にも配慮され、来店、集客性の高い店舗コンセプトを実現されています。



サービスストールも通路も余裕あるスペースに



固定式フリーローラーを備えた検査ライン



床面がフラットで作業性の良い  
イーグルFXリフト



収納キャビネットを多数配置し、整理整頓と作業性を向上



クイックストールにはフラットワークステージX 5t、タンデムリフト、イーグルFXを各1基導入

## セルフ洗車、アメニティ設備で来店促進

女性、ファミリーなど年代を問わず幅広い顧客層をターゲットとするネット店として、ご来店いただきやすいロケーションとともに、キッズコーナーの「パオタワールド」など、新店舗ではお客様へのアメニティも万全。プレオープンの段階からすでに既存顧客を中心に新規顧客も含めて賑わいを見せています。

販売、サービスとの連携が店舗の機能として求められる中、「冬季、夏季を問わず快適な作業環境が実現しました」と副店長の坂田博行氏。「メカニックの身体への負担も少なく、働きやすい環境を生かして、お客様へのサービスの充実に還元できればと考えています」と、ES、CS両面への波及効果を期待されています。



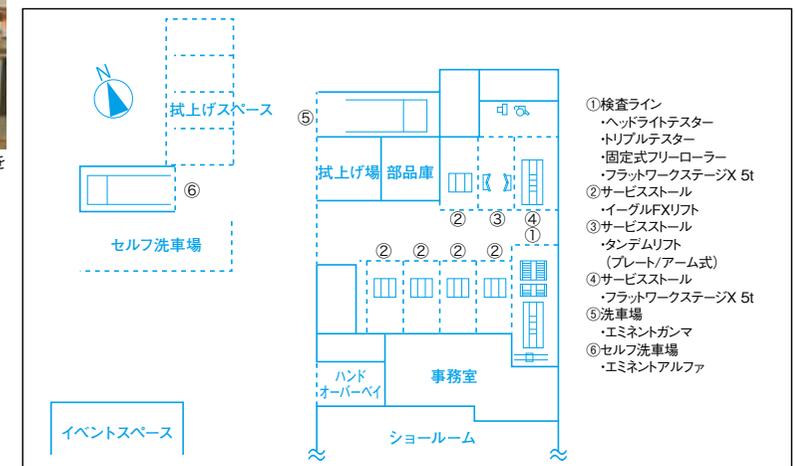
お客様と新車の出会いを演出する  
「ハンドオーバーベイ」



会員専用のセルフ  
洗車コーナー



拭き取りスペース、マットクリーナー、  
バキュームクリーナーも完備



# 最新機器と快適なサービス環境により 安心ドライブのサポート体制を実現

大阪府と和歌山県に新車販売店として25店舗を展開する大阪スバル株式会社では、各店舗のリニューアルを推進される中、このたび守口市の本社の建て替えを完了し、本社オフィスおよび守口店の店舗・サービス工場を併設した5階建ての社屋として全面リニューアルしました。



国道1号線に面した5階建ての社屋。



1階が守口店のショールーム。



六連星のマークを掲げたショールームフロント。



近畿統括本部 統括サービス部品部長  
朝子 亮伺氏



守口店 サービス課 課長  
本地 康志氏

## 最新の環境で顧客の安心をサポート

大阪市の北東部に隣接する守口市の国道1号線に面した同社の本社新社屋は1階に守口店のショールーム、2階にサービス工場をレイアウトした5階建てのオフィスビルとなっています。同社の販売拠点の中核となる本社社屋として、また市街地に立地する販売・サービスの拠点を併設することから店舗内外の環境面にも最大限の配慮がなされています。「お客様の車を大切に取扱い、きれいな環境でサービスを行うこと、もう一つはメカニックの働く環境を整えることが最大の目的です」と近畿統括本部、統括サービス部品部長の朝子亮伺氏。サービス工場もオフィスビルの上層階に設けられており、お客様の安心をサポートする最新の設備機器とともに安全で快適な作業空間づくりを実現されています。

## 先進技術にも対応するサービス体制を実現

サービス工場は8ストールに検査ラインと洗車場を併設、車両の入出庫のため専用エレベータとスロープが設けられています。主な設備は車検、一般サービスにイーグルリフトが5基、クイックストールにワークステージXが1基、さらに重整備にも対応する2柱リフトも2基導入されています。検査ラインには固定式フリーローラー、トリプルテスターのほかネットワークProを導入。またクイックストールにはジオライナーを設備し、精密なホイールアライメント測定により高度なエイミング対応も可能としています。洗車ストールには門型洗車機「エminentデルタ」および自動下部洗浄機を設備、洗車作業の効率化、省力化を実現しています。



イーグルFXリフトを5基設備。ストール幅も広く作業性アップ。ストール後方にもリールを設備し、2名作業を容易に。



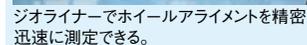
リフトアップ時も床面はほぼフラットに。



収納キャビネットを全面的に導入、整理整頓で作業性も向上。



オイルドレンボックスで廃油の回収もクリーン&スピーディ。



ジオライナーでホイールアライメントを精密、迅速に測定できる。



特定整備にも対応する検査ライン。



洗車ストールには門型洗車機と自動下部洗浄機を設備。

## 高いモチベーションによりCSに貢献

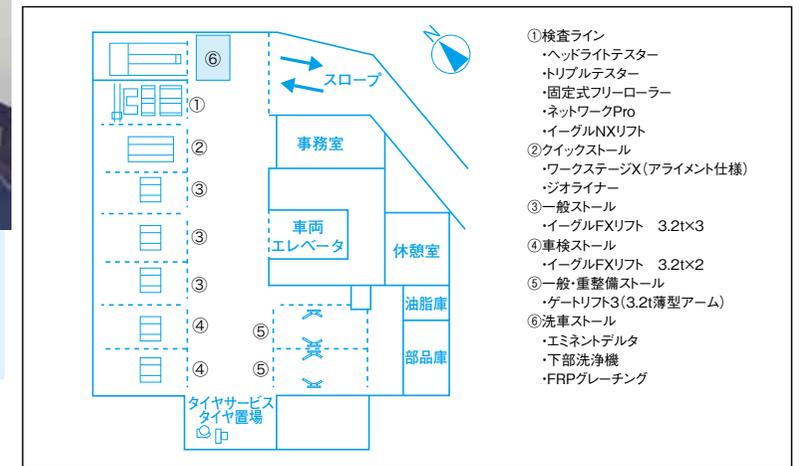
こうした最新設備のサービス環境により「CSとESを高い次元でバランスさせること、メカニックのモチベーションを顧客の満足と会社の利益につなげることが理想です」(朝子部長)とのこと。サービスストールも広く、明るく快適な作業環境を実現したことにより「動きやすく、かつ無駄な動きもなくなりました。しかも完全空調なので快適に作業できます」とサービス課課長の本地康志氏。本社に併設した守口店として、「つねに清潔にとモチベーションを高め、お客様にもお車を安心してお任せいただけるサービス環境をアピールしていきたいですね」とのことです。



明るく広々としたショールーム。



待合コーナーもゆったりと落ち着いた雰囲気。



# SHOW ROOM

# SHOW ROOM

## 【門型洗車機】エminentαIV RO-20X

洗浄力と乾燥力を向上!  
洗車時間を短縮し効率的な洗車を実現!!  
豊富なオプションで  
お客様のニーズにお応えします。



**NEW** 新静音スポンジブラシ  
「マシェルNEO」  
先進の技術とセンサーで洗浄力UP!  
「ドアミラーでいねい洗浄」  
「ワイドセンサー」  
「ワイドサイドノズル」

洗車スピード「82秒/台」を実現!  
B-PROシリーズと連携した  
「B-PRO泡モード」「鉄粉除去モード」を搭載!

### マシェル NEO

洗浄力の向上のために最適な長さや形状を追求

### ドアミラーでいねい洗浄

ドアミラーの洗い残しを減少

●側面コーナー部  
走行インバータ制御でコーナー部をいねい洗浄します。

●ドアミラー部  
ドアミラー部の回避エリアを短縮、もちろん、いねい洗浄します。

※新しい洗浄 (ブラシ移動速度5m/分→3m/分)  
※最高速度設定時は速度優先で、いねい洗浄をおこないません。

### ワイドセンサー (多軸光電センサー)

複雑化する車形を正確に測定。洗浄・乾燥力が向上

ワイドセンサーの特長  
1. トップブラシの接触圧を一定に保ち、均一な洗浄を実現する車種に対応。トップブラシが正確に車形を感知して乾燥

●トップブラシの動き  
センシング能力がアップすることで、ブラシの接触圧が一定になり、均一な洗浄が可能になります。

●トップノズルの動き  
センシング能力がアップすることで、必要十分な水量に調整し、特に凹凸部の洗浄が向上します。

### ワイドサイドノズル

従来より全長を 160mm 拡大し、側面の乾燥を強化した固定サイドノズル

高さ 160mm UP

**NEW** オプション  
新たな高密度ガラス系コーティング「プロストコート」を採用!  
「光沢性」「防汚性」「耐久性」はもちろん「流水性」にも優れる為、洗車後の拭き上げ時間が、水洗い洗車時と比較して約 5 分短縮

水洗い洗車	
タオルの水分量	167mL
拭き上げ時間	7分 12秒
プロストコート	
タオルの水分量	49mL
拭き上げ時間	1分 58秒

■仕様

型式	RO-20X
本体寸法 (mm)	W3,600 × H2,840 × L2,750
洗車可能寸法 (mm)	W2,300 × H2,300 × L5,000
安全装置	ワイヤー式 (前後 4コーナー部)
洗車時最大電気容量 (kW)	2.47
乾燥時最大電気容量 (kW)	7.90
電源 (V/A)	三相 200/75

## 【エイミング効率化機器】サイドラインガイド CSN-OP-SLG

通常2人で行う車両側線の位置出しが  
1人で効率的に行えます。



- センターサポートナビと併用して車両側線が簡単に導き出せます。
- 従来作業に比べて5分以上作業時間を短縮。
- マルチエイミングボード、位置出しスタンドと組み合わせて、ターゲットの設置も効率的に行えます。

### 従来の作業では…

フェンダーの指定個所に下げ振りを取り付け、さらに前後から水系を張る作業が必要になります。通常2人で行う作業となります。

①ボディに下げ振りを取付ける際にマスキングなどで傷を防ぐなどの処理が必要になります。

②通常の下げ振りではタイヤやホイールに接触して設置が難しい場合もあります。

### サイドラインガイドで効率化!

サイドラインガイドとセンターサポートナビを使用して、1人で作業が行え、従来の作業と比較し5分以上作業時間を短縮できます。

①サイドラインガイドをホイールに取り付けて…

②センターサポートナビのレーザー光を合わせます。

③車両側線が簡単に導き出せます。

### 構成品



ASV (先進安全自動車) の安全機能のエイミングサポートツール  
**センターサポートナビ CSN-3A**

センターサポートナビとの併用で作業効率をアップするターゲット位置決めツール  
**センターサポートナビ位置出しスタンド PAT.P CSN-3A-OP-ST**

センターサポートナビとの併用でカメラエイミングがスムーズに!  
**マルチエイミングボード CSN-MAB-3A**

市販のターゲットを貼り付けて使用します。

■仕様

型式	CSN-OP-SLG
対象ホイール PCD (mm)	100/114.3/139.7
対象ホイール穴数	4/5/6
対象ホイールナットサイズ (mm)	19/21

# SHOW ROOM

## 【全熱交換器ユニット露出設置型】ベンティエール VAH250HS



ショールーム、事務所などのウイルス対策に、室内の温度を変えずに換気できる、後付け熱交換器ユニット。

- 室温に近い空気を取り込み、換気による温度差を和らげます。
- ウイルス対策用フィルター(別売品)の使用で外気中の菌やウイルスを吸着して抑制します。
- 後付け設置型で換気対策の実施をお客様にアピールできます。
- 天井吊下げ、壁掛け、屋外の軒下吊下げなど、設置方法も選べます。

後付け  
設置用



設置例①



設置例②



換気模式図

### 仕様

型式	VAH250HS					
換気モード	全熱交換換気			普通換気		
ノッチ	特強	強	弱	特強	強	弱
風量 (m <sup>3</sup> /h)	263/285	250/250	166/150	263/285	250/250	166/150
外形寸法 (mm)	278×810×551					
製品質量 (kg)	23					
ダクト接続口 (mm)	φ150					
電源 (V/Hz)	単相100 50/60					

## 【埋設シリンダーリフト】タンデムリフト35 DPL-TP35シリーズ

余裕の3.5t能力、セッティングが容易なクイックアタッチメントを標準装備。

- 上昇・下降時もフラットな床面で快適作業空間。
- 能力3.5t、揚程1.8mで幅広い車種、整備に対応。
- クイックアタッチメントを標準装備、アーム使用時の受金セットがスピーディ。

能力  
**3.5 ton**

### 仕様

型式	DPL-TP35AZMF-Y	DPL-TP35AZMF-YF	DPL-TP35BZMF-Y	DPL-TP35BZMF-YF
油圧ユニット	内蔵型		別置型	
受合形状	スライドプレート/アーム兼用式			
プレートタイプ	ロング	ショート	ロング	ショート
能力 (kg)	3,500			
揚程 (mm)	1,800			
モーター (V/kW)	三相 AC200 2.2			
エア圧 (MPa)	0.7			



# SHOW ROOM

## 【ピット転落防止カバー】エフオール セキュリティー BTFS-700A/750A/800A

ピット幅に対応する3タイプ。使用が容易な省スペース仕様のピット転落防止カバー。

- 折り畳み式で格納時は展開時の5分の1の省スペース。
- 軽い力で折り畳め、使用時は自動ロックで固定されます。

耐荷重  
**150kg**



ピット長さに合わせて専用の走行レール(4~12m)を別途ご用意しています。

### 仕様

型式	BTFS-700A	BTFS-750A	BTFS-800A
対応ピット幅(mm)	700	750	800
カバー枚数(長さmm)	4枚/set (982)		
耐荷重(kgf/mm)	150(静荷重)		

※写真はピット転落防止カバー3セット分となります。

## 【全自動フルード交換機】HYBRID・CVT・AT フルードチェンジャー AMC-900X

ハイブリッド車、CVT、ATに対応フルード交換が全自動。

- チェンジャー・オールドレンを一体化。
- HYBRID車ワンサイクル自動フルード交換。
- CVT・ATレベルゲージレス車の自動フルード交換を実現。

### 仕様

型式	AMC-900X
電源 (V/Hz)	AC100 50/60
モーター (W)	55 コンデンサー運転型 (定格30分)
ポンプ (L/分)	トロコイド式ポンプ 2~4 (油温により異なる)
交換方式	①循環全自動式 ②手動式 ③オールドレン油量計測システム
計測方式	重量センサー方式
制御方式	マイコン制御方式
タンク	①新油ペール缶 [20L] ②鋼板製廃油タンク [20L] ③フルードチェック用サブタンク [0.3L]
給排ホース (mm)	φ9.5×φ15 長さ1.8m



## WEB セミナー 第2弾

# 『アフターコロナ対策・整備ショップが今やるべき事』 シリーズ

WEB セミナー第2弾として、下記セミナーを企画しております。先着順となりますので、申し込みサイトからお早めにお申し込みください。なお、WEB セミナーをライブで視聴して頂いた方への特典として、右記粗品をプレゼント致します。是非、ライブでのご視聴をお願い致します。



[URL]  
https://www.banzai.co.jp/web\_seminar.html  
◀こちらのQRコードをスキャンしてもアクセスできます。

WEB セミナーをライブでご視聴頂き、アンケートにお答えいただくと、もれなく下記粗品をプレゼントします！



●電波遮断ポーチ  
(黒またはブラウン)  
サイズ【横 120mm×縦 85mm】

No.	開催日	セミナータイトル	セミナー概要	講師	時間
1	2021年 2月9日 (火) 15:00~	整備業界における助成金活用について	労働環境を改善しつつ、会社運営にプラスになる助成金の活用について、分かり易く解説します。また、必要に応じて、無料診断も合わせてご提案します。	福岡助成金申請センター	1.0h
2	2021年 2月10日 (水) 15:00~	トータルエイミングのご提案	第一弾では、特定整備認証取得を中心に解説しましたが、本セミナーでは、より実践的なエイミング作業の効率化についてご提案します。	株式会社バンザイ	1.0h
3	2021年 2月16日 (火) 15:00~	洗車作業の効率化 ~最新洗車機のご紹介~	人手不足の中、毎日の洗車作業で発生する労力と無駄を削減するための手法とカーオーナーから喜ばれる洗車メニューのご提案を、最新、洗車機器と合わせてご提案します。	株式会社バンザイ	1.0h
4	2021年 2月18日 (木) 15:00~	カーエアコンビジネス 最前線 ~最新フロンガス交換機のご紹介~	エアコンガス 134a の代替フロン 1234yf が普及しつつある中、カーオーナーに効果を伝えやすいカーエアコンビジネスについて、最新の機材も踏まえ、分かり易く解説します。	日本整備株式会社	1.0h
5	2021年 2月19日 (金) 15:00~	店舗運営におけるコロナ対策 ~B-PRO・ダイキン・IHI 最新対策機材~	未だ収束が見えない新型コロナの流行ですが、店舗運営には欠かせないクリンリネスにおいて、最新のコロナ対策機材と活用事例のご紹介を致します。	株式会社バンザイ	1.0h
6	2021年 2月24日 (水) 15:00~	バーチャル工場見学会 最新・工場レイアウトのご紹介 ~小型車整備工場編~	コロナ禍で、工場見学もできない昨今、特定整備も含め、効率化と快適性を兼ね備えた工場レイアウトと最新の機器を、仮想的にご紹介する工場見学会です。	株式会社バンザイ	1.0h
7	2021年 3月以降	後日視聴希望 (Youtube 限定公開にて) 【申込期限】 2021年2月22日まで	どうしてもライブでのWEB視聴ができない方向けに、後日、youtube 限定公開にて、各セミナーをご視聴頂けます。 後日視聴には、事前お申し込みが必要です。 ご登録いただいたメールアドレスへ、3月1日以降に動画アクセス先をご案内します。	-	-

# BANZAI GUIDE

## 新型コロナウイルス対策の当社取り組みについて

当社では新型コロナウイルスへの感染予防対策として、お取引先様、関係者様および従業員等への安全確保の観点から、徹底した衛生管理を実施しております。また訪問の際は、手指の消毒、マスクの着用を行い、感染予防を徹底してまいります。特別な対策が必要な際は、ご相談の上、ご訪問をさせていただきますので事前にお申し付けください。

皆様にはご不便をおかけ致しますが、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。また展示会やセミナーなどのイベントの開催が困難となる中、お客様への提案活動にも新たな取り組みを行っています。デジタル化を見据えた新たな試みとして、「WEBセミナー」を開催。昨年10月の第1弾に続いて本年2月には第2弾として全6講座の開催を予定しています。

バンザイでは今後もこうした取り組みをリアル・バーチャル両面で継続し新たな展開を模索してまいります。今後とも倍旧のご指導、ご支援をお願い申し上げます。

### 編集後記



明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願い申し上げます。2020年が過ぎ、2021年を迎えましたが、振り返ると新型コロナウイルスによる様々な混乱が起こり、東京オリンピック・パラリンピックの延期や自粛生活などマイナスの出来事が続く一年でした。弊社としても、創業100年を迎え多くの企画を考えていたところ中止せざるを得ない状況となり、大変悔やまれる年となりました。し

＜高泉＞

かしながら、この状況を憂いてばかりいるのではなく、いま出来ることに全力を注いでいくことが大切なことだと思念しています。厳しい状況での年明けではありますが、次の100年を築き上げていくために一層の努力をしてく所存です。これからも弊社と本誌をご愛顧賜りますようお願い申し上げます。末筆ながら、本年は皆様の笑顔あふれる年となりますよう心よりお祈り申し上げます。